

クリーンナップ作戦～ブラックバス駆除～

当土地改良区では、21創造運動として、平成14年より第1回目のブラックバス駆除を開始し、9年間で7回の駆除を行っている。また、現在一ノ目潟は農業用の他に飲料水としても利用されていることから、水質保全のため一ノ目潟周辺のクリーンナップも同時に実施している。今年度は、ブラックバス駆除は行わずクリーンナップのみを実施した。

クリーンナップでの回収ゴミは、遊漁者が残していったものと見られる釣り針や釣り糸、空き缶、ビニール袋、タバコの吸殻等であった。今年度のゴミの量は10ℓ入れゴミ袋が3つ分だった。例年より貯水量が多かったせいもあり湖岸にゴミは少なかったが遊漁者も年々減少しているのではないかと考えられた。

昨年度の駆除量の減少からブラックバスは年々減少していると思われる。堤防から覗く水面にシマヨシノボリの稚魚が多数見られた。こうした在来魚はブラックバスが餌として捕食するため一時はほとんど見られなくなっていたが、今年は多数確認できたことから長年の活動の成果があったものと思われる。しかし、外来魚すべてを除去することは、ため池の構造上不可能であるため、駆除は継続して行う必要があると認識している。



活動体制	
実施主体	水土里ネット一ノ目潟（男鹿市北浦一ノ目潟土地改良区）
後援・連携	県水産振興センター・男鹿市・男鹿市土地改良区連絡協議会
実施期間	平成23年9月2日
参加者	地元住民、男鹿市、男鹿市土地改良区連絡協議会、関係者 40名
報道関連	特になし
活動実績	9年
連絡先	〒010-0683 男鹿市北浦北浦字北浦82-5 男鹿市北浦一ノ目潟土地改良区 TEL.0185-33-4069
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット一ノ目潟（夏井まゆ子）

○活動の目標及び達成率	目標 湖岸周辺のクリーンナップを土地改良区が主体となり、地元住民とともに行う。 達成率 60%
○活動に対する評価	・クリーンナップについては充分活動内容を達成していると感じる。地元住民の参加者が増えているが、今年度、地元の行事と重なってしまい、毎年参加していただいている老人会の参加がなかった。開催日も検討しながら地元住民の方々に参加しやすいよう努力したい。

判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	D	運動のPRに対しては今後、広報の方法について検討していきたい
①役職員・組合員の参加	A	役職員、組合員の積極的な協力がみられる	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	D	毎年地元小学校への参加要請をしているが、日程が調整できず、参加に至っていない	①他組織との連携構築	A	上水道を提供している男鹿市企業局と、綿密に連絡し計画を立てて実行している。男鹿市企業局からも、水質の保全に対する意見を求め、その実現に対して、協力を求めている
2. 活動の意義性について			②地域住民等の理解	A	水質の保全の重要性を伝えることができていると感じる
①基本理念の設定	A	水質の保全への取り組みとしての基本姿勢は確固としている	③施設管理・地域資源の保全強化	A	この運動が水質の保全とため池の維持管理を強化する運動であると感ずる
②地域の歴史等の伝承	A	この運動そのものが、ため池維持管理に努力した先人の遺志を継ぐものであると考えている	④運動の地域づくりへの関わり	A	例年継続して行うことで地域の協力が不可欠となっていることから、関わりが大きくなってきていると感じる
③運動の先駆性	E	他への手本となるような独自の運動ではない	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	E	農地・水・環境保全向上対策は当土地改良区の関係地域では行われていない
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	C	水質の保全に努めることが地域農業の進行に直接的に働きかけることではないが、農業経営をする上で、より良い水質で稲作することが将来的に作物の品質の向上につながればよいと思う
①運動の継続性	A	今年度で9回目の開催であり、今後も継続して行いたいと考えている	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	水質の保全のために必要な運動を毎年見直し、その年の一ノ目潟の状況に応じて活動内容を広げている	・継続して運動を行ったことで、水質保全への取り組みが、地域への理解を得つつある。今年度は外来魚駆除を行わなかったが、今後継続して行うことで水質の保全に努力をしていきたい。		
③運動の計画性	A	事前に取り組みについての打ち合わせを入念に行い、無駄のない活動計画を立て取り組んでいる			

（自己判定） A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他